

告辞

高知大学長の脇口でございます。連合農学研究科を代表して、お祝いを申し上げます。

本日、学位を授与されました十八名の皆さん、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、これまで熱心に指導に当たってこられました指導教員、ご家族、関係者の皆様にも、お慶びと感謝の意を表したいと思います。

さて、皆さんが、手にされた学位記は、皆さんのリサーチマインドが特別に優れていることの証明であります。研究は、PDCAサイクルの繰り返し、そして失敗から学び立ち直る経験の繰り返しでもあります。「懐中電灯一つを頼りに、星一つない暗い夜道を行く」時のような、不安と心細さそしてワクワクする気持ちの入り交じった作業の繰り返しでもありません。皆さんは、研究生生活を通じて、目的を設定するための情報力と洞察力、推理力、直感力、目的を達成するための実験技法の修得・改善、研究データの評価、そして論文作成に必要な文章力、表現力を修得されたはずです。

皆さんが、これからAI全盛時代において活躍し続けるために必要な能力は、これまで身につけてきた最新の知識でも

先端技術でもなく、新たな知や技術を生み出す能力でありま
す。それは、豊富な知識と経験を統合することで醸成される
直感力とリサーチマインドであり、イノベーションを生み出
す力があります。そしてもう一つ重要な能力があります。そ
れは、失敗する力です。失敗する力とは、単に失敗すること
ではなく、失敗から重要な何かを学び取り、失敗から立ち直
り、さらに上のステージを目指して再出発する力であります。
皆さんは、研究を通して、これらのAIには持てない能力を
修得されております。皆さんは、これらの優れた能力を獲得
されたことに、大きな誇りと自信を持って下さい。とくに、
外国から来られた留学生の皆さんは、生活習慣、食事、文化、
気候などの違いに、大きなとまどいを感じられ、挫折しそう
になったことも、一度ならずあったのではないでしょうか。
それだけに、留学生の皆さんには特に深く敬意を表します。

現在、地球上の人口は増加の一途を辿っており、このまま
放置しておれば、近い将来、地球は人類を養うことが出来な
くなりますが、その前に起こるのは、戦争や紛争、暴動など
でありましょう。そのような不幸や危機を救うのは、農業技
術の改善・普及、医療・環境衛生の整備、そして教育の普及
であります。皆さんは、食料増産に直接あるいは間接的に関

連する、農学研究科で学び研究されてきました。皆さんの研究成果と皆さんの卓越した能力が、地球と地球上の人類を救う道を拓き、持続可能社会の構築に繋がる未来の一翼を担っていることを忘れないで下さい。今こそ、皆さんのような有為の若者は、自分と家族や自分の国の幸せが、国際社会の幸せにも繋がる道筋をしめすようなグローバルな視点で、活躍するべき時であります。

皆さんには、輝かしい未来が開けておりますが、壁に突き当たった時には、研究の過程で身につけた能力が、皆さんの人生を切り拓くための、強力な武器になるはずであります。優れた人材は、美しい環境で育つと言われます。自然豊かで美しい四国で学ばれた皆さんの経験と感性、連合農学研究科において修得された、高度な専門的知識と科学・技術、P D C Aサイクルを回す能力、そして高い倫理観を存分に活用して、母国と地球が抱える課題の解決に尽力して下さいることを期待して、学長告辞といたします。

学位取得、おめでとうございます。

平成二十九年三月二十一日

高知大学 学長 脇口 宏